

ミニジュニアかなざわ検定～解答～

問1 答え . . . ①算盤そろばん

～算術の達人「前田利家」～

前田利家は槍の達人であったことから「槍の又左」や金箔で作った黄金に輝く甲冑を着るなど派手好きであったことから「かぶき者」と呼ばれていましたが、そんな利家には「算術の達人」という異名もありました。戦場にまで算盤を持って行って、パチパチはじいていたそうので、お金やお米の計算をきめ細やかに行ったといわれています。武芸だけでなく、当時最先端のハイテク機器であった算盤を使いこなした利家はそうとう器用者だったのでしょ。

そんな利家はとっても律儀で人望も厚く、多くの大名や家臣から慕われていたといわれています。現代風にいうと超ハイスペック男子だったんですね。懂れます！

【イメージ図】



ごはさんで
ねが
願ひましてはー



問2 答え . . . ②歴史のまちしるべれきし

～地名の由来がそこかしこに～

地名に歴史あり。この「歴史のまちしるべ」には歴史のある町や坂道の名前の由来が刻んであります。例えば、石引町は戸室山から切り出した戸室石を引いて運んだ道筋であったことが由来とされているそうです。金沢市にはこのように地名の由来が書かれた「歴史のまちしるべ」がなんと224箇所もあるんですよ。探して読んでみると街歩きがもっと楽しくなりますね。

問3 答え . . . ①氷室まんじゅうひむろ



～和菓子大好き金沢市民～

氷室まんじゅう美味しいですね。私は甘さ控えめのこしあん派です。

そんなことはさておいて、加賀藩では藩政期から冬場に積もった雪を「氷室」と呼ばれる保冷庫に保存し、夏場に取り出して、幕府に献上してしていました。その際に、無病息災を願って食べていた麦まんじゅうを氷室まんじゅうと呼ぶようになったそうです。

氷室まんじゅう以外にも金沢には季節や人生の節目に和菓子を食べる文化があって、和菓子は金沢市民にとって、とても身近な存在となっています。和菓子の1世帯当たりの年間支出額ランキングって知ってます？どの都市の家族が和菓子に使うお金が一番多いかを表したランキングなんですけど、なんと金沢市が第1位なんですよ。金沢市民は和菓子が好きなんですねー。

和菓子消費量（総務省統計局調べ「家計調査（二人以上の世帯）都道府県庁所在市及び政令指定都市別ランキング（平成28～30年平均）」より）